



昨年の表彰式から

表彰は徳島で
選定された六団
体の表彰は、一〇
月一二日に徳島県
那賀町で開催され
る「四国の森づく
りin徳島2013」
で表彰されます。

- 「四国山の日賞」決定**
受賞団体表彰は10月12日に
- 「四国山の日賞」(三部門)に、八団体からの応募があり、選考委員会(八月二三日)において審査し、六団体の受賞が決定しました。
- 一 多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進部門
 - 高知県緑サポーター会(高知県)
 - 二 木材の利用推進部門
 - 株式会社ウッドピア(徳島県)
 - 三 森林環境教育活動の推進部門(四団体)
 - 川田中(かわたなか) 緑の少年隊(徳島県)
 - 土庄町大部(おおへ) 財産区(香川県)
 - 愛治(あいじ) 緑の少年団(愛媛県)
 - 喜多地区林業研究グループ連絡協議会(愛媛県)

研究発表事例にまなぶ

安芸署(19年度発表)

課題名「伐採方法別によるカメラ付きケーブルグラップル集材の実用化について」

発表のあらまし

カメラ付きケーブルグラップル集材は、集材機運転手のみで、ロージングブロックの下方に装着しているカメラ映像により、搬器を先山まで移動し、伐採された材を掴み集積場まで搬送する方法。

伐採方法別により工期等を調査

- 皆伐
- 列状間伐
- 点状間伐

結果

伐採方法別の結果、では有効だが、1回の集材で1本しか掴めないため、小径木が多い林分では効率が低下、の林分密度が高い箇所では、残存木損傷の度合いが高い。

今後の展開

集材作業において荷掛手を要しないことから労働生産性の向上、荷掛手の労働災害防止、天候に左右されない等の利点を活かし、一連の作業効率向上対策と新たな運用にも期待。



(森林の学習)

「平成24年度森林・林業白書」って(平成24年度森林及び林業の動向、平成25年度森林及び林業施策)

「第 章」では、「森林・林業の再生と国有林」をテーマに、森林・林業の再生に向けた取組の背景を整理した上で、主な取組状況を紹介。また、本年4月に組織・事業のすべてを一般会計に移行した国有林野事業の具体的な取組について紹介。

「第 章」では、東日本大震災からの復旧・復興に向けた動き。「第 章」では、地球温暖化対策と森林。「第 章」では、森林の整備・保全。「第 章」では、林業と山村。「第 章」では、林産物需給と木材産業。

(林野庁HPからダウンロード可)

編集後記

研究発表会課題名を全署等から報告を。
なお、発表概要は12月末までに提出を。